

14. 24-586



1200501162642

24

6

緬織物海外市場調査報告

昭和三十一年三月



始



昭和三年一月

(代 謄 寫)

綿織物海外市場調査報告

日本輸出綿織物同業組合聯合會

本調査は客歲支那及南洋綿布市場需要狀況
調査の爲め本會より派遣したる遠江織物同
業組合技師福田都雄氏の報告に係るものなり

目次

ル
今
寄贈本

第一章 爪哇、ボルネオ、スマトラ綿布事情

- (一) 本邦綿布の需要狀況
- (二) 本邦綿布に對する外國製品の競争狀況
- (三) 本邦綿布及外國綿布に對する需要者のを批判
- (四) 本邦綿布の賣込方法につき改善を要する點並に製造上改良を要する點
- (五) 輸出布査に對する批判
- (六) 南洋市場に於ける本邦綿の將來

第二章 海峽殖民地馬來半島綿布事情

- (一) 海峽殖民地に於ける本邦綿布の需要狀況
- (二) 本邦綿布に對する外國製品の競争狀況
- (三) 本邦綿布及外國綿布に對する需要者の批判
- (四) 本邦造布の賣込方法につき改善を要する點並に製造上改良を要する點



1421-586
579-1

- (五) 輸出検査に對する批判
- (六) 本邦綿布將來の趨勢

第三章 上海香港綿布事情

- (一) 上海市場に於ける本邦綿布需要の狀況
- (二) 香港に於ける本邦綿布需要の狀況
- (三) 本邦綿布競争狀況
- (四) 本邦綿布及外國綿布に對する需要點の批判
- (五) 綿布賣込方法につき改善を要する點並に製造上改良を要する點
- (六) 輸出検査に對する批判
- (七) 本邦綿布將來の趨勢結論

結論

綿織物海外市場調査報告

支那及南洋

昭和二年七月六日濱松出發同月八日神戸出帆の宮崎丸に乗船途次上海香港、シンガポールを経て瓜哇、スマトラ、ボルネオ、海峽殖民地、馬來半島を視察すこの間一百日を費し突破すること實に一萬哩を算す。左に第一章瓜哇、ボルネオ、スマトラ、第二章海峽殖民地、馬來半島、第三章上海香港の三章に分ち其の大要を報告すべし。

第一章 瓜哇、ボルネオ、スマトラ、綿布事情

(一) 本邦綿布の需要狀況

南洋諸島中我が國綿布最大需要地にして將來益々有望なるは瓜哇、ボルネオ、スマトラの三島なるべし。就中現在最も有望なるは瓜哇にして將來あるは、ボルネオ、スマトラなるべし。本章に於ては瓜哇について詳説し他は之れと同一事情にあれば其の中相違の點のみを記述し其の煩をさく。

瓜哇島は面積五萬平方里(一二六千平方里)にして人口三千五百萬人を有し人口の稠密なる蓋しベルギーに次ぐべく而も内に製造工業なく殆んど總べてを外國の輸入に待たざるべからざるの狀態にあり、而して人口三千五百萬人中土人は實に三千萬人を算し、多少の手織式副業あるも大勢を支配するが如き製産組織なし。

而して目下綿布輸入國としては英國、和蘭、スイツル、伊太利、獨逸、日本等にして就中高級綿布は英、蘭、瑞三國製のもの多く中流品は伊太利にして我が國品は低級品たるを免れず近時支那工業の發達は目ざましき狀態にあり。下級粗布、縞綿布等輸出せられ従つて我國下級品は之れ等支那製品の爲に大に脅さるゝの狀態にあり、然れども未だ以て品質の點に於て彼の及ばざる遠し。

要するに歐洲品は永き歴史と多くの犠牲とを拂ひて今日の基礎を築きたるものなるも、我が國の南洋貿易たるや歐洲大戰に際し、歐洲の物資海外に輸出せられざりし時に始まりしものにして、其の原因たるや天祐とも云ふべく偶發とも稱すべきチャンスを得たるより始まりたるものにて時日の短かきと左程の努力研究なしに開拓したる貿易地なれば自ら低級品たるを免れず、其の多くは粗布天竺、金巾等の生地綿布等にして縞三綾等も近時我が輸出綿布の三分の一を占むるに至りたるも雜貨商其他瓜哇在住邦人の思惑的假需要によりて在荷數量の激増を來し、遂に市價激落し投賣品等も出で、相當波瀾ありたり、されど之れは主として土人の男子用、上衣及ズボンに廣く用ひらるゝが故に漸次在荷の減少に伴ひ需要は起るべし、されど一方捺染細綾布の流行は非常なる勢を以て進展しつゝあれば縞三綾全盛時代は一過の感なきにあらず、而してこゝに嬉ばしき現象は加工綿布の逐次増加の傾向にあることにして、從來日本よりの輸出綿布は主として男物向の物多きも、何れの國を問はず女向のものゝ需要多き事は周知の事にて未だ本邦製品が土人の女物として需要せらるゝもの殆んど少なく、パプ(下女)ですら日本品を着用せざるは遺憾の極みなり、將來この地へ輸出すべき最も有望なるべきは女物の製造にあるは論を俟たざるなり。

瓜哇は常夏の國にて日中屋外百二十度室内八十二三度を常とし、而して一ヶ年を乾期と雨期に大別し乾期は大概四五月頃より十月頃までの期間にて降雨少なく、雨期は十一月頃より翌年四五月頃までの期間にて雨多し、故に農民は雨期が作物の植付期にて農繁期に屬し、従つて百姓用の野良着織物即ち粗布、黒染ジンス、最近五枚朱子の染色せしもの等使用せらるゝ、又乾期は植物の收穫期にて殊に瓜哇の一大産物たる砂糖等の取入れ等行はるゝにより金廻りもよく、殊に回教の正月(プアサ)前後は高級綿布の需要多し。

斯く時期により需要の品種には變化あるも、大體に於て土人の収入は年々大差なく従つて其の需要數量も亦一定量なり。目下當地方にて使用せらるゝものは前述の織物の外綿フランオル等も高原地の人に需要せらるゝボプリン、小倉等も亦男上着用として相當使用せらるゝ。

綿縮等はあまり其の需要を聞かず五枚朱子は最近益々需要増加の傾向にあり、縞ボプリン等は英國品に優秀且つ廉價なるものあり競争困難なり、之れ綿絲紡績の缺陷にもよるものなれば之れ等研究は焦眉の急にして國立綿業試験場

の設立の一日も速かならん事を望む次第なり。

又綿モス友禪等近時輸入せられつゝあるも中には染色不堅牢の甚だしきものあり、就中北越地方製のものには不堅牢のもの少からずと云はる、如斯ものは今や全く自滅の外なく引ては我國輸出綿布の聲價にも影響するものなれば大に自重を要す左に昭和元年中瓜哇に輸入せられし本邦綿布の状況を記さん。

日本綿絲布輸入港別表 (一九二六年)

○パタピア

品名	數量	金額
生金 巾(巾二十九吋以下)	三二、〇〇〇	六、三六〇
同 (巾三十吋以上長サ三十三吋以下)	二六一、六〇〇	二四二、八〇五
同 (巾三十四—三十六吋長サ二十五碼以上)	四六五、八〇〇	九〇、一六七
同 (四十二吋以上)	九、九八三、八二五	一、七七九、五七九
日本製シーチング(三十四—三十六吋)	一、二二三、〇〇〇	二八〇、〇七九
ドリールジーンズ(絲數三十八以上巾二十八吋以下)	二二、五〇〇	七、三一〇
同 上(絲數三十八以上巾二十九吋以上)	一五六、〇〇〇	四九、三七九
晒ドリールジーンズ	二六五、四三二	六四、四四一
染ドリールジーンズ(巾二十六吋以下)	三八、四〇〇	九、二四〇
同 上(巾二十七吋以上)	三、六三〇、一五二	九三五、一二〇
縞子類	一〇七、一三〇	四二、四六五
フランネル	一四四、六六四	三七、〇二二

其他ノ染織物(巾二十七吋以下)

同 上(巾二十八吋以上)

型物ドリール・ジンス

型物フランネル

型物アドリアノーベルアリザリン(赤以外巾二十七吋以下)

同 上(巾二十八吋以上)

縞物ドリール

縞物(巾二十七吋以下)

同上其他(二十八吋以上)

モスリン及類似品

衣服用雜綿布

綿布合計

○スラバヤ

生 金 巾(二十九吋以下)

同 (巾三十吋以上—三十三吋以下)

同 (巾三十四—三十六長サ二十五以上)

同 (三十七吋—四十一吋)

同 (四十二吋以上)

日本製シーチング(三十四—三十六)

ドリール・ジンス(絲數三十二以下巾三十三吋以上)

同 上(絲數三三—三七巾三〇吋以下)

二一八、一三四

二、二〇四、四二八

一、二二九、三八〇

二四、二四〇

一二九、四四八

三七四、五八五

一九、三二八、八八〇

三、一二三、八七〇

三〇、九九〇

六三、六〇〇

六三六、四三九

四五、五六七、八九七

四二、七一二

四六一、七九九

三五四、九二五

五、八三五

二〇、八八四

八一、六五九

四、一一九、三七一

四七一、八八五

七、七四七

一四、〇五四

一三九、六五七

九、二六四、四九五

三、九七八

一〇、八五五

一、三一〇、八八一

一四、四二五

一二三、七三三

一、〇一七、〇六九

一九四、九三一

一九、一六五

同 上(絲數三十八以上巾二十九吋以上)

カムブリック(絲數三六—四五巾三八—三九)

同 (絲數四六—五五巾四十吋以上)

晒 金 巾 (絲數三四—四〇巾三四—三六)

同 (絲數四一—五〇巾三四以上)

晒ドリール・ジンス

其他ノ晒綿布

染ドリール・ジンス(巾二十六吋以下)

染ドリール・ジンス(巾二十七吋以上)

繻子類

フランネル

其他ノ染織物(巾二十七吋以下)

同 上(巾二十八吋以上)

型物ドリール・ジンス

型物フランネル

型物アドリアノーベルアリザリン赤

右赤以外(巾二十七吋以下)

同 上(巾二十八吋以上)

縞物ドリール

ツリコット

縞物(巾二十七吋以下)

五七九、〇〇〇

一五、五〇〇

四二、五〇〇

一一〇、〇七〇

一八九、〇〇〇

四六九、五五四

一四、五二五

二二二、八〇〇

九、二〇六、七一五

一、五四六、七一〇

四三二、九八〇

一、三一四、六一一

四、八五一、六四二

二九二、五三〇

三七、二〇〇

五六五、六二〇

一二二、二七二

八八九、〇六五

一二、五六九、九七〇

三九、五四〇

四、六三〇、七六〇

一八六、四七五

五、三七〇

一四、八〇〇

三四、三五六

五五、五三三

一三一、六三九

四、八〇八

四八、三四〇

二、五六九、六四〇

五九一、二〇三

一一二、一六一

二二〇、一七九

一、三一八、七二一

九四、八四八

一〇、六一三

一〇八、〇三三

一七、三〇一

一九一、九四三

二、七三〇、六一二

一五、六九二

九四二、四五二

同上其他(二十八吋以上)
衣服用雜綿布
綿布合計

○スマラン

生金 巾(巾二九吋以下)
同 (巾三十吋以上三十三吋以下)
同 (巾三十四—三十六長サ二十四以下)
同 (巾三十四—三十六長サ二十五以上)
同 (三十七吋—四十一吋)
同 (四十二吋以上)
同 日本製シートチング(三十四—三十六)
同 上(三十七吋以上)
同 ドリール・ジンス(絲數三十三以下巾二十三吋以上)
同 上(絲數三十八以上巾二十八吋以下)
同 上(絲數三十八以上巾二十九吋以上)
同 カムブリック(絲數四六一五五巾三八—四〇)
同 上(絲數四六一五五巾四十吋以上)
晒金 巾(絲數三四—四〇巾三四—三六)
同 上(絲數四一—五〇巾三三以下)
晒ドリール・ジンス
其他ノ晒綿布

五二四、七六五
一〇、〇六二、九五三
六〇、一〇〇、九五七
一六二、四三三
二、二七五、五五六
一四、五三七、七四五

一、四三一、〇〇〇
八八九、二〇〇
二四、〇〇〇
六、六八七、八〇〇
二、〇六九、四五〇
二、二四一、一二五
一、九四五、六〇〇
二、九六七、七二五
二九二、〇〇〇
三九七、五〇〇
六四〇、五〇〇
二一二、三〇〇
三〇七、二四四
四、〇〇〇
三二、〇〇〇
六〇三、〇〇〇
六三、一八〇
一九九、八七七
一一五、六五二
二、七七五
一、六三五、五六二
三三六、八一九
四一五、〇五三
四二九、〇五五
五一六、六九五
六四、一四八
一二六、四一三
二〇八、三五三
七一、二一八
一一二、三五八
九八二
九、〇三七
一四三、二八一
九、三九五

染ドリール・ジンス(巾二十七吋以上)

縹子類

其他ノ染織物(巾二十七吋)

同 上(巾二十八吋以上)

型物ドリール・ジンス

型物フランネル

型物アドリアノーベルアラザリン赤

右赤以外(巾二十七吋以下)

同 上(巾二十八吋以上)

縹物ドリール

ツリコット

縹物(巾二十七吋以下)

同上其他(二十八吋以上)

モスリン及類似品

衣服用雜綿布

綿布合計

○チエリボン

生金 巾(巾三十吋以上三十三吋以下)
同 (巾三十四—三十六長サ二十五以上)
同 (三十七吋—四十一吋)
同 上(四十二吋以上)

四、五〇六、一三八
四七六、三六〇
四九、五〇四
四九〇、九五〇
二〇七、九〇〇
七一、三一四
四四、五〇〇
四九、六七六
一〇二、二〇〇
三、〇四七、四一〇
四二、五〇〇
四、六四〇、六〇五
二五一、四四三
二三四、一五〇
一三二、三五六
三五、一五四、六三〇
一、一二八、〇四七
一七四、三〇三
八、四〇二
九四、七六一
七八、一七六
一七、九九二
七、三七二
八、一七〇
二九、五八三
六三四、三二六
一二、七九九
九五七、九五九
五六、八一五
四七、四七〇
五七、九八七
七、七一〇、八二五

四八、〇〇〇
一四八、〇〇〇
四一、二五〇
一九〇、七五〇
五、四一五
三四、七二七
七、九二一
三三、七五九

日本製シーチング(三十四—三十六)
 同上(三十七以上)
 晒金 巾(絲數三十三以下巾三十四以上)
 晒ドリール・ジーンズ
 染ドリール・ジーンズ(巾二十七吋以上)
 繻朱類
 其他ノ染織物(巾二十八吋以上)
 縞物ドリール
 縞物(巾二十七吋以下)
 綿布合計

四港綿絲輸入額總計

バタビア	一一、〇七四、四八六盾	一八一、五六二
スラバヤ	一六、一〇七、〇三九盾	二二、一八四
スマラン	九、二九二、五〇八盾	三、〇〇〇
チエリボン	二、〇四〇、〇八六盾	三一、三四二
瓜哇合計	三八、五一四、一一九盾	一九五、三二六
		三二、八七三
		四、四二八
		七〇六、六五三
		八二、三四八
		一、三四一、五二八

ボルネオ島はバンジャルマシン及其の奥地を調査せしのみなるを以て全般に渡つて知る由なけれども、同島は北部の一部英領にて他は蘭領なり、其面積も我が邦本州の三倍あるも人口稀薄にして多きも一平方里四五十人を出でず故に綿布需要も瓜哇に比して頗る少なくバンジャルマシンを中心とせる地方にては多くスラバヤより輸出せらるゝものにて他の地方にありてはシンガポールより再輸出せらるゝものなり。近時ゴム栽培盛んとなりパラバイ、アモンタイ

附近の土民は資本を要せずして開墾せしゴム山より一週五十萬圓内外のゴムを産出するを以て金廻りもよく文化に恵まれざりし土民も一度に文化を吸収して一ケ年に自動車七百臺を輸入し、自轉車、オートバイ等數千臺の輸入を見、従つて衣服等も瓜哇に比して整ひ、バンドンの華美を入れ、装身具等數百圓、數千圓を要すの有様にて高級綿布の需要は益々増加の傾向にあり、服装は却て瓜哇土人より華美なるものゝ如し、天然の富源は地下に埋没せられ寶庫開かれざるボルネオ島の將來又囑目に價すべし。

此の地に需要せらるゝものは大體に於て瓜哇内地に同じ目下日本商としては南洋商會の出張所あるのみ。スマトラ島は面積瓜哇の二倍あり、我が國の本州の面積と稍髣髴たり、我々の視察したるはメダン市を中心とせる奥地、即ちチアンタイトバ湖附近、ブラスタギ一其附近にしてスマトラの一小部分なりしを以て一般を推測すること難きも、一般にマラッカ海峡に面したる土民は瓜哇人と同じく馬來の血を受けたる人民にして金使ひ荒く、宵越金は持たぬ式の土人多く従つて之れ等の人々に綿布を賣る事は將來有望なることなり、この地にては瓜哇と同じく縞三綾の需要多く之れに亞で捺染縞ジンス其他女物としては歐洲品等使用せらるゝも、日本品はシンガポールより再輸入せらるゝものとて日蘭貿易會社(大正十年—大正十四年まで)の出張所ありし頃は盛んに直接輸入せられしも、大正十四年頃同會社失脚後は總べて支那商館の手により輸入せらる。然れども最近七八月頃より三井洋行の出張所設置せらるゝに至りしを以て同出張所今後の活躍を乞ふものなり。

其他バダン地方の土人は商賣上手にて貯蓄心もあり、商賣上手と稱せらるゝ支那人すら及ばざる程にて之等土人と直接の取引をなさば需要益々加はるべし、ボルネオと同じく寶庫開拓せらるゝに於ては將來有望なる需要地なるべし

(二)本邦綿布に對する外國製品の競争狀況
 瓜哇に於ける綿布輸入は上述の如く歐洲品と日本品及支那品との巴狀競争行はれつゝあり、一面太物の下級品は勞銀低廉の支那品の進撃するあり、高級綿布は歐洲品獨占の状態にあるを以て邦品は今後益々難局に立つべく、將來高級綿布に對抗し得るまでの研究を要すべし、たゞ此の間にありて價の低廉にして我れに地の利あるを以て漸時歐洲品を蠶食し、近時加工綿布の著しく増加しつゝあるは喜ばしき現象なりとすべし、左に英、蘭、日三國の最近四ケ年間

に於ける綿布輸入の消長を記さん。

品 種	年 次	オランダ		英 國		日 本	
		輸入ニ對スル百分率	一九三三年ニ對スル増減	輸入ニ對スル百分率	一九三三年ニ對スル増減	輸入ニ對スル百分率	一九三三年ニ對スル増減
生地綿布	一九二三年	一七、三%	—	一九、九%	—	六〇、四%	—
	一九二四年	五、六%	*六七、六%	一三、八%	*三〇、五%	七三、四%	〇、二%
	一九二五年	六、七%	*六一、七%	二二、七%	*三、一%	五五、二%	〇、四%
	一九二六年	八、二%	*五、六%	四、八%	*七五、八%	七九、七%	〇、三%
同	一九二三年	二、九%	—	四、五%	—	二四、一%	—
同	一九二四年	七、四%	*四、六%	四、三%	*二、六%	三三、一%	〇、四%
同	一九二五年	六、一%	*五、七%	四、〇%	*三、五%	三三、三%	〇、三%
同	一九二六年	四、八%	*六、八%	三、〇%	*二、四%	三、三%	〇、六%
色 綿布	一九二三年	五、二%	—	三、一%	—	二、二%	—
	一九二四年	五、五%	*二、七%	三、五%	〇、四、五%	三、七%	〇、六、八%
	一九二五年	五、八%	*一〇、八%	三、八%	〇、八、三%	三、八%	〇、七、七%
	一九二六年	六、九、二%	〇、六、九%	二、七、七%	*一〇、九%	一、八%	*一、八、八%
晒 綿 布	一九二三年	—	—	—	—	—	—
	一九二四年	—	—	—	—	—	—
	一九二五年	—	—	—	—	—	—
	一九二六年	—	—	—	—	—	—
重 要 綿 布 合 計	一九二三年	三、九%	—	三、八%	—	一八、〇%	—
	一九二四年	二、二%	*四、七%	三、一%	*二、四%	二六、二%	〇、四、五%
	一九二五年	二、五、三%	*三〇、六%	三、四、五%	〇、五、一%	二五、八%	〇、四、三%
	一九二六年	二、七、三%	*四、四%	二、七、九%	*一四、四%	二八、二%	〇、五、六%

備考 (*は減。は増)

上記統計表の示す如く英、蘭先進國累年輸入數量を減じつゝあるに獨り我國のみ其の數量を増しつゝあるは喜ばしき現象なり、而して今や綿布輸入國として第一位を占むるに至れるも下級品は支那より高級品は歐洲より挾撃せらるゝあり、自重を要すべき秋なり、加ふるに歐洲は資金の潤澤と技術殊に整理加工の優秀なると細絲紡績とに秀でたるに加へ尙地盤の牢固たるあり、之れと對抗せんとする本邦品については數段の努力を拂はざるべからず、たゞ徒らに第一位を贏ちえたるに自惚るゝは禁物なりとす、薄物捺染捺染細綾布縞ボブリン、キャンブリック等未だ以て及ばざる點多々あり、一日も速に歐洲品と對抗し之れを撃退する方法を講ぜざるべからず。

(三)本邦綿布及外國綿布に對する需要者の批判

本邦綿布が一躍第一位を贏ち得たるは其の市價の低廉なる事主因をなすものにて、元來瓜哇土人(ボルネオ、スマトラ土人を同様)は生活程度低く、上流と下流との二階級に分たれ大部分は後者に屬す、従つて其の收入も少なきを以て安價なる織物を要求す、之れ外國品の漸時減じ我國品の増加する所以にして要は彼等生活に適合する製品を送る事にあり然れども値段安さのみを以て彼等を満足せしむるものにあらず、歐洲品は長く瓜哇人間に使用せられて染色の堅牢と技術の優秀にして瓜哇人を満足せしむるに足る、圖案意匠の考案等其の研究の至れるに比し、本邦品はやゝもすれば價の安からんことに重きを置きて使用に對する觀念を没却するの憾みなさにもあらず、之れ畢竟するに價の安からんことを願ふのあまり、品質爲に制限せらるゝの弊にして之れに反し歐洲品は値段は高きも彼等は賣りてより需要後の最後までを見とゞけるの責任を持し、販賣するを以て土人等の如く鑑識眼なき者においては少しも高くも安全なる織物を要求するは勿論なり、之れ後述せんとする一店一種主義の販賣方により自然の趨勢とは雖も大に學ぶべき事項なりとす。

然るに本邦品は總じて順次品質低下の傾向あり、卸商又は小賣人は品質の粗惡に流れ、値下の危険を感じてストツクを持つ事を嫌ひ、需要者は使用に對する不安とどこまで値下をなすかの見當に迷ふ、之れ最も本邦商品の不評なる處にして之れが改善をなさざれば輸出貿易の發展は深く望まれざるべし(スマトラ、ボルネオ、も大體同様)

(四)本邦綿布の賣込方法につき改善を要する點並に製造上改良を要する點

本邦綿布の賣込方法としては瓜哇にある本邦商社の本支店の手を経て華商(支那商)に卸し更に支那人の小賣店に之れを卸賣をなす。而して賣込みは總べて現金主義なるを以て歐洲商社の三ヶ月掛賣り方法に比し扱人が多量に扱ひ難き缺點あり、之れ華商の信用状態不明にて彼等は詐欺破産を平氣にてなす習性あるとにより相當の注意を拂ふ必要あり、されど歐商は商品に對する多少の損失を見込むが故に高價なるは免がれざるも比較的資本少なき支那商人に對しては、やはり延取引喜ばれつゝあり歐洲商社の賣込み方法として最も吾人の參考とすべきは三ヶ月の掛賣の約定なるも若し之れを一ヶ月間に支拂をなすものに對しては、或は一分引となすとか又二ヶ月内に支拂ふときは二分引をなしたる店に對しては扱金高の一步を割返すと云ふが如き規定を設けて競争的に之れを取扱はしむるが如き方策を講じつゝあり、而して一柄一命主義にて同一町村に在る扱ひ店には必ず各競争をさくる様、品様、柄合等各其店々に限られ同種の物を數店に卸賣りするが如き事をなさず、故に無益の競争起らず市價は常に一定す、されば卸商も、小賣店も安心して商賣をなし得て相當の利益を得らるゝが故に賣れる見込あるものは二三月の先物までの約定をなし在荷をもちて商賣出来る、從つて製造業も引續き生産することが出來採算も出合ふ、即ち製造業者より卸商小賣人に至るまで安心して仕事が出来收穫が得らるゝ而も一柄一店主義の爲に信用ある品を賣らざる可からざるは必然の事にして賣價に無理なき様に從て製品は需要者の手に渡りてより終るまで見とゞけ得る程の信用ある品が賣れることゝなる、然るに本邦品は取引状況上記の如く現金主義なるを以て大口の取引困難なるに加ふるに邦商互に競争之れ事とし從つて市價は漸時下落し製造家は採算不引合となり商社は扱へども、骨折損の草臥儲に終るもの多し、かるが故に其の製品は次第に品質低下し、或は絲數を減じ或は染色堅牢度を閉却してまでも下等染を行ふが如き、甲より乙、乙より丙と船の入港することと値段の低下する有様にて折角賣り込みて好評を博したる品も次第に粗惡に流れ易く先に仕入たる品は後荷の安値に引下げざれば賣れぬ事となり、ストックは全く損失を招くに至る、故に卸商及小賣店にては變轉常なき本邦綿布取扱ひを危険視して入用量づゝ小口に取引する有様なり、斯の如状態にあるときは折角發展の緒に付きし、本邦綿布貿易を永續せしむる事困難となるべく、之れには人々により或は製造人の自制的足らざるによると論ず

るあり、或は扱商人の不節制と無益の競争によるものなりと論ずる向もあれど、要するに各業者の自制は素より、無益の競争をさけ、ひたすら、本邦綿布の向上發展に努力すべきことにして五彩布より大正布、大正布より縞三綾と漸時國我綿布の變轉するは一面流行の然らしむる處なりとは雖も、品質低下染色不堅牢により需要者及扱人に嫌はれし結果にして今や我が輸出綿布の三分の一を占むる縞三綾亦前者の徹を踏まんとしつゝ、あり細心の注意を要す。

製造上最も必要なるは左の諸點なりとす。

(イ)瓜哇人の國民性を知り適合品を作る事

元來瓜哇人は其の宗教上より見るも非常に變化を好む國民性を有し、土人の大多數の宗教は回教なるも之れは其の教義に於て又儀式に於て他宗に比し、變化あるを以て變化を好む國民性に適合したるが故に舊き歴史ある佛教を捨て、回教に去りたるものにして如斯國民性はやがては其嗜好の上にも顯はるゝものにて(變化)目先の變りし物を製造せば歓迎せらるゝの傾向あり、故に彼等の嗜好を研究すること最も必要にて從つて他品の模倣をなすが如きは大に戒め獨創品を考案すること必要なり。

例へば英國製の或種の模様大に賣れたりとして、之れがサンプルを取りて日本に送り數月を要して之れを瓜哇に送る頃には既に國民は其の種の物に厭きて一顧だもせざるに至り、折角の製品も無用の長物に歸したるが如き例ありしを聞く、之れ模倣の如何に不可なるかを立證するに足るものなり。

(ロ)ローカルカラーの研究の必要なること

瓜哇は面積廣からざれども地方々々により各々其の色合、柄行等其の嗜好を異にす、例へばバンドンの華美なるに反してジョクジャ、ソロ等の地味にして手織縞を好し縞三綾の如きも小柄の細縞を好むが如く其のローカル、カラーを知らずして、たゞ支那への賣れ残り品を向けるが如き從來の仕方にては今後の進展思ひもよらず深く地方に入り込みて之れ等の研究をなす事を必要とす(此の意味に於て我々は汽車によらず瓜哇全島を自動車にて突破し各地村落の視察をなし大に得る處ありたり、こゝに他日の視察者の爲に附言す)

(ハ)技術的研究を要すること

歐洲商社の狀況を見るに商社に居る人々中には染織の技術的知識を有する人材ありて各地の狀況、用途等につき研究し一々用途に應じて染料の指定をなして之れを作らしむるも、遺憾乍ら本邦商社には斯の如き人少し、故に製造人はたゞ成行きにまかせて製品を作り或は中間商人の言を其の儘入れて粗悪品にても賣れると云ふが故に之れを製造するてふ、不見識を止めて其の品の用途を考慮し、其の結果により地質、染料の撰擇等をなし、たゞ見本の色目にさへ適合せば善悪良否は之れを度外視するが如きは大に戒むべきことなり。彼の獨逸の如き農具の一つ「鋏」の製作についてすらも各地の土壤、地質等を研究し其し地質により形態を異にし、或は細長く或は扁平に十數種の形を作り之れに各地名を付したるカタログを配布して之れが宣傳なす等農具にてもすら此の如し、況んや流行の變遷常なき織物に於てはより以上の研究必要にして技術者を第一線に立たしめ技術的研究をなさしめ適品を作る事は目下の急務なり。

(備考) 技術的研究機關として工務官の駐在或は輸出聯合會より技術員派遣等により調査報告せしむるも亦一法なるべし

(二) 小口注文にも應ずべき事

本邦製造業者殊に捺染會社にありては一柄十箱以上とか、兎角大口注文ならでは引受けざる傾向あるも一柄千反主義は瓜哇地方へは不向にて一柄一命少量主義を採らざるべからず、故に小口の注文と雖も喜んで之れを引受け得るが如き製産組織になす事肝要なりとす。

(ホ) 土人の嗜好する色合及意匠の研究をなすこと

南洋土人の好む色合の研究又必要にして瓜哇等にも東部即ちマヅラ人の如きは赤、青等の單色を好み赤と白との横縞あるメリヤシャツ等は非常に好愛す又西部土人は華美に、中部土人は地味に各異なれりとは雖も大體に於て南洋の土人は一般にカーキ色を好み、其他、赤青、紫淺黃、オレンジ等の濃、中、淡色、就中其の淡色を好む者多く色の澁味を好む點は日本人に髣髴たる所あり而して黃には一般に嫌はる、色目なるを以て製造業者は深く之の點に注意を要す。

又、模様、商標等に至りても相當の考慮を要するものにして、曾て日本より「マッチ」を輸入したるに、其商標が土

人に好まれざる爲め全然失敗に終りたると云ふ、一般に犬、豚の如きは喜ばれず、蝙蝠、象等は氣受よきもの、如し。

(五) 輸出検査に對する批判

大體に於て輸出検査をなす織物と、せざる織物とを比較するときは、製品自ら統一せるは検査品にして其の効果たるや甚大なる言を俟たず。

然れども、本邦輸出綿布中には、検査品と非検査品とありて、其の大部分は後者に屬す、而して一般扱商及需要者間には全く輸出検査品なるや否やに付ては殆んど無關心にて輸出検査に對する批判を求むるに殆んど輸出検査の何物たるを知らざる者多し、之れ輸出検査の合格證印又は證票が一般に宣傳せられざると、一面に於ては、非検査品も市場に相當多き爲め同一視せらるゝに歸因すべく、故に我輸出聯合會に於ては輸出綿布に對しては全部之れを検査するの方策を講ずると同時に廣く輸出品に對する検査の効果並に合格證印の宣傳をなし、「マーク」を一般の人に知らしむる事焦眉の急なり、又或る向に於ては輸出検査に信頼せず各自店員をして検査せしめて之れを引取りつゝあるものもあり、之れ一面に於ては輸出検査の尙統一を缺くの點にもよる可けれども、之れを要するに、同一の品名の織物にて其合格品にも數種あり何れも同一の印章捺捺せられ検査證とせられつゝあるを以て不統一の甚だしきものとの批難をなすものあり、之れ等は検査其物に缺陷なきも、要するに規程の缺陷とも稱すべく、目下規定せられ實行しつゝある製織標準は其の最低が定められたる物なるを以て、最低標準より下らざる範圍にて之れを製造するに於ては何等規定にふるることなし、故に同種、同名の織物に甲、乙、丙、丁と夫々異りたるものを生じ一見不統一の如く見ゆ。

故に検査品には一つの規格を作り、各其の製品に一定の規格表示をなさば自然と需要者にも了解せしむるを得て、検査不統一の謗を受くることなからん。

然れども輸出検査の統一せざることも亦争はれぬ事實にして各支部各情實ありとは雖も、之れが勵行統一を計る事は焦眉の急にして現に南洋市場に於て目撃せし輸出検査品中に全く検査せられざりしものかと思はるゝ不良品にして立派に合格證印の押捺せるを發見せり、其の一例としては綿ネル捺染布にて、二三日箱より出し置きしに脱色(褪色)して使用に堪へざるが如きものや、又甚だしき汚染ありて殆んど製品として價値なきものが而も合格證票の付著せる

等、又縞三綾等にて緯絲十本も不足せるもの等所々にて見受けたり、之れ等は全く目落し品なるべきも偶々斯の如きものに出會ひし人は全く検査の那邊にあるやを疑ふは無理ならぬ事なり、之れ些少事なりと雖も引ては検査の權威にも關することなれば各支部各其の任務の重大なるを思ひ検査の勵行をなすべきなり。

又瓜哇の或る州の知事が日本製捺染細綾布を見てビヤマ地として所望したるに之れが扱ひ商社は其依頼を受けし邦人某氏に對し實は一、二回洗濯せば脱色するが故に、州知事のビヤマ地としては御斷りせし方宜敷からんとこの事に遂に品切れの故を以て之れを斷りたりと聞く。勿論こは一小話柄に過ぎずと雖も看過すべからざることにして検査の如何に必要なかを立證するに足るものなり。

(六)南洋市場に於ける本邦綿布の將來

瓜哇は現在既に開けて將來に於ても益々有望なる輸出地なるもスマトラは目下、英、米各國の資本等を入れて其廣大なる土地の開拓に努力しつゝあれば瓜哇に次で開くるはこの土地なるべく、バタック種族中には藍にて染色をなし紺無地を手機にして使用するものもあるも、近き將來に於て産業旺盛となり、人口増加すべく而して富源の開拓せられし時に於ては綿布の需要は益々多く瓜哇に倍加して有望なる輸出地なる可し、目下同地方には日本商社なく専ら支那商の手により輸入せらるゝも將來この地に日本商社を設置せば本邦綿布の需要正に増加すべく、ボルネオもスマトラと事情を同うし、天産物多くダイヤモンド、ゴム、石油等の産出盛んなり、而も二三年前のゴム好況時代以來非常なる發展をなし、服装は調ひ、金廻りもよく、南洋地方よりメッカ回教本山に參詣する者毎年五百人を算するも内二百人は之のボルネオ土人なりと云ふ、如何に金持の多きかを窺ふを得べし。(本山參詣には少なくも千盾を要す)

如斯土地柄を有するが故に、各國の資本は年々投資せられ従つて就業者の移住も増加し、之の勢を以てすれば將來此等地方發展は實に目ざましきものあらん。而して現在及近き將來に於て染織工業の起るが如きことなかるべく、綿布輸出地として大に矚目に値すべし。

而して之れ等の島々にありては何れも綿布のみの需要地と稱すべく、男子用としては縞三綾、捺染細綾布、白服用綿朱子等最も有望なる可く、女物としては薄地物捺染布(カバヤ用)捺染トブラルコ等需要多かるべし、尙土人のサロ

ン、カインバンジャン、カインカバラ用瓜哇更紗の原料たるキャンブリック等も需要頗る大なるも遺憾乍ら英國品の殆んど獨占せるもの、如く我が國金巾(弓矢)鷹等の三巾物僅かに「サロン地」として一部用ひらるゝに至れり、瓜哇土人の如き生活程度高からざるものにおいて我が國三巾金巾にて充分なるも、尙キャンブリックの依然として使用せらるゝは、全く我が國の努力の足らざる處にして技術者は須らく三巾金巾を瓜哇更紗に應用の方法を知らしむるの途を講じなば我國三巾金巾の將來益々有望なるべし。

其他帽子用のベツチン蚊帳用としての綿緞、紗等も重要な輸出品として閉却すべからざるものなり。要するに高級加工綿布の製造最も有望にして歐洲品と對抗し得るの域に到達せば輸出綿布の前途洋々たるものあるべし。

第二章 海峽殖民地馬來半島綿布事情

(一)海峽殖民地に於ける本邦綿布の需要狀況

海峽殖民地に於て需要の最大なるは晒及未晒細布ドリル、晒シャーチング等にして就中、金巾ジンス、チークロス等最も多く染色布としては紅金巾、黒染天竺、黒染ズリール、紺染天竺及金巾、縞綾翹を主とし捺染綿布は細絲使用のもの需要の多數を占むること瓜哇地方に同じ。

無地晒布、金巾は支那人、土人等の服に用ひられ其他下級民の寢具敷物等にも用ひられる。

黒ジンス、カーキドリルは一般に服地自動車カバー、日覆、寢具に用ひ黒ジンスは又土人支那人等の機械職工學生の服地に用ひ捺染布はシャツズボン又は上衣婦女子、子供の服地に用ひられる、外、カーテンクッションカバー等に用ひられる之れ等綿布全織物輸入額の五割を占む其他紅金巾はタミルの着物頭卷、其他支那婦女子にも用ひらる縞三つ綾も瓜哇と同じく需要多く男子の上着及ズボン等に使用せらる。其他捺染細綾布は非常なる勢を以つて需要増加の傾向にあり何も縞三つ綾と用途を同じくす、色ジンス、色シャーチング、色朱子紋織等は婦女子の着物として用ひらる。縞ポブリン、綿サージ、黒朱子等は土人及支那人の服地として用られ色朱子は服の裏地として用ひらる。

而して本邦綿布中最も勢力を有するは縞三つ綾にして同地を経てスマトラ、ボルネオ等へも輸出せらる、之れに次ぐは黒金巾及天竺等にして暹羅方面へも輸出せらる、無地布中粗布未晒天竺等は廣東方面へ送りて染色するものにして最も歓迎せられつゝあり。

捺染綿布は歐州大戰中一時多額の輸入を見たるも染色不堅牢の爲次第に減少し奥地向僅少輸入せらる其他縞ポップン等も歐州品の格安にて光澤の良好なる爲本邦品はあまり振はず其他晒物に至りては全く歐州に及ばざること遠し。而して海峽殖民地及馬來聯邦州其他非邦州の綿布總輸入額は三千百五十萬弗にして之の内三分の一が海峽殖民地にて消費せられ他他の三分の二は新嘉坡より再輸出せらる。

左に本邦綿布輸入の状況を記さん。

無地布	三、七三一、五七九碼	八五二、一〇五弗
染色布	八、五四〇、三三七碼	一、六五五、三三八弗
捺染布	三、九一三、九八二碼	八三七、七〇四弗

新嘉坡より再輸出地としてはシヤムを第一としスマトラ、ボルネオ之れに次ぐ。

(二)本邦綿布に對する外國製品の競争狀況

當市場に於ける競争品としては瓜哇と同じく英國、和蘭の高級綿布と支那の下級綿布として本邦品は之の中間に介在し上物は英、和に下等品は支那に押され頗る困難なる立場にあり、而して英國品は其の屬領地の關係にも依るべけれど概して品質優良なるを以つて値の高價なるにもかかはらず全島に其の需要あり。然れども我國品はシンガポール及彼南方面に多少の需要あるのみにて多くはスマトラ、ボルネオ暹羅等に再輸出せらる、即ち我が國よりシンガポールへの輸入年額二百六十萬弗中其の九〇六は再輸出せらるゝものなり。シンガポールは需要地としてよりも中繼港として重要な處なりとす。

(三)本邦綿布及外國綿布に對する需要者の批判

本邦綿布は外國製品に比して概して廉價なるが故に生活程度高からざる土人、支那人に對しては最も適當品なり、

然れども捺染綿布(更紗)は多く支那人に需要せらるゝも洗濯激しき支那人(南方支那人は非常に洗濯繁し)間に於ては我國更紗が堅牢でないとの批判をなすものあり、又柄合意匠につきても全く地方の状況を調査の上製造せしもの少く従つて押付賣の感あり、故に眞の需要者に喜ばれるもの少き憾あり、其他捺染ジンス等も亦値段安き故に多少賣れ行きあるも柄合の牙えずして染色堅牢ならざる點に於て尙研究の余地あり、黒紺染色布にありては廣東染色品及シンガポール地染品の染色堅牢にして光澤あるに比し稍遜色あり、其他縞綿布下等品にありては支那製品の出來榮え感心せざる爲に我が製品歓迎せられつゝあるも人絹應用品に至りては支那製品の廉價ある爲却て彼に遜色あるの嫌ひあり只だ縞三つ綾は我が國品獨占の狀態にあるも捺染細綾布の勢力あなどり難し。

(四)本邦綿布の賣込方法につき改善を要する點並に製造上改良を要する點

海峽殖民地並に馬來半島に於ては何れの都市を觀察するも我國輸入商あるを見ず主として神戸在住支那商館の手を経て輸入せらるゝ有様にて従つてやゝともすれば粗製品の輸入せらるゝの憾なきにあらず、故に今後同地方へ本邦綿布を賣込さんと欲せばシンガポールに我が輸入商の設置は焦眉の急にて常に支那其他の扱店の信用状態を研究し確實なるものとの取引を開始せば將來益々有望なるべし、従つて製造上改良を要する點に付ても責任ある日本商人の輸入にあらず華商の手より入るものなればやゝともすれば彼等の利益以外の何物をも考慮せざる習癖の爲に不正品(不良品)の輸入なきを保し難し。

(歐州取引状態) 取引方法は直輸入者へロ(九十)日の荷爲替を取組直輸入者は卸商に六十日の信用貸をなし更に小賣商に對し三十日乃至四十日の信用貸をなす然るに我國は現金主義なり。

(五)輸出検査に對する批判

前記の如く多く支那商の手に輸入せらるゝを以つて粗悪品の輸入時に無きこと保し難きも幸にして輸出検査品は稍統一せる検査を経たるものなれば概して粗悪なるもの少きも検査なきもの例へば綿モス、友禪の如きものに至りては染色不堅牢なるものを見受くることあり。

然し乍ら輸出聯合會検査は未だ以て完璧の域に達せず或は地方人の情實に依るか又は検査の粗漏より生じたるもの

か粗悪品を見出すこと屢々ありしは遺憾なり、就中縞三ツ綾の密度不足のもの並に染色の如何はしき物等は輸出検査の權威に關する事にして、一般織物の聲價にも影響する處大なれば大に注意を要す捺染物の不堅牢等も亦考究を要す

(六)本邦綿布將來の趨勢

本邦綿布の現在を勝ち得たるは全く歐洲戰亂の偶發に依りて漁夫の利を得たるに等しく戰亂終りて後は英國は從來の市場回復に努力し着々其の回復を見つゝあり、従つて我が國輸入綿布は逐年歐品に地盤を奪回せられ支那よりの輸入と大差なきの状態にあり、今にして之が對策を講ぜざらんか前途寒心すべきものあらん、現在最も輸入多き縞三ツ綾は縞柄に於て既に飽きを生じたるの感なきにあらず、而して流行は日に進み縞物より捺染物に進むの傾向にあること瓜哇地方に同じ故に將來は瓜哇の章にて記述せし如く細絲物の捺染物の輸入最も有望なるべく、縞ポプリン等も單絲細絲を以つて製織し英國品と對抗品を作ること肝要なり。大要瓜哇に述べしと同様なるを以て略す。

第三章 上海、香港綿布事情

支那は四百余州の大陸を擁し人口四億を算するも内に工業未だ盛ならず、其の衣服の大部分は外國品の輸入を待たざる可からざるの状態にあり、而して對外貿易は一ヶ年十六億の巨額に達し、綿布は其の大宗にして一億五千萬海關兩に達す。

而して上海は支那中部の貿易港たるのみならず支那全土の貿易港とも稱するを得べし。

(一)上海市場に於ける本邦綿布需要の狀況

- 1 「生金巾」上海に輸入せらるゝ生金巾は細布(巾三十六吋長四十碼)十二封度及以上のもの大部分を占め、並布(巾三十八吋長三十八碼)十封度内外のもの之に次ぐ、而して本邦より輸入せらるゝは英國の五分の一に過ぎず
- 2 細綾木綿は歐洲戰亂前は英國品九〇%を占めたるも現今にては殆んど我國の獨占となり生地綿布中第一位を占む。
- 3 天竺布は漸時支那製品の產出するありて次第に減少しつゝあり。

4 晒金巾は殆んど英國品多く我が製品は其の十分の一だも輸入せられず之れ絲質の劣れると晒技術の不熟練なるによるべし。

5 晒天竺は元來需要少なかりしを近時細布、ジンスの使用せらるゝに至り需要減少しつゝあり。

6 スレーキは漸時勢力を得つゝあるも香港スレーキの勢力今に牢固なるものあり一般の努力を要す。

7 紅木綿は年々減少の傾あり之れ中部支那人が漸次單色より復雜なる色相を好む傾向になりつゝあるを以て需要益々減ずべし。

8 イタリアン、ベネシヤン、ラスチング等は一九一九年の頃より非常なる發展をなし殊に五枚八枚朱子は其の需要頗る増加せり。

9 綿ポブリンは六ツ綾網代と同様需要漸次減少の趨勢にあり。

10 更紗は我が國輸入綿布中最も需要多し之れ一面我が國染色技術の向上にもよるべきも亦其の研究努力の賜にして我が一行の上海訪問の際濱松、日本形染會社村上技師が一ヶ月餘も滞在して圖案の作製に勉め之れを直接支那商に提示して其の批判を求め之れに基き日本にて捺染をなすと云ふに會す。

本邦更紗の需要増加又故なきにあらず。

11 其の他の捺染綿布としては五枚末子、及細綾布の捺染物更紗同様益々需要増加しつゝあり。

12 綿フランネルは其の需要益々多く我が國の獨占に近き狀況にあり。

13 綿縮は近時英國品を凌駕し日本品の需要多し。

以上の如く日本品は昨年までは輸入額の四割にて英國品は其の六割を占めたるも一九二六年五月の南京事件以來英貨排斥となり、日本六割英國四割となり其の地位は逆轉するに至れり左に最近三ヶ年間に於ける我國綿布輸入の狀況を記さん。

品名	年 度		
	一九二六年	一九二五年	一九二四年
黒色五枚朱子	九〇五、五一〇	七九三、九四六	五七三、三三三
色五枚朱子	三四九、六二二	二四五、三四二	一八六、三一五
捺染五枚朱子	三三六、五三六	一一九、七六六	三三三、三三〇
生地五枚朱子	二、五三九、六三一		
八枚朱子	一六、二四六、〇七九		
黒綾	二一、九二八	九、一三二、九二八	二、一〇一、六二〇
色綾	八一、九七五	二五、七〇六	九六、二三九
黒(H)綾	八、二八二	五四、九六八	
色綾	四六、八四四	一八、二六四	九二、〇八二
ボプリン	七六、八〇三	四六、三二六	一六、五九〇
イタリアン	一〇、九八五	六六、七八三	
二重フランネル	二、一一二、三九八	一二、七七〇	
染フランネル	二〇四、八〇七	三、七三四、一三三	五八一、八〇〇
生フランネル	一六七、一四四	一三、〇八二	七七、二〇五
白フランネル	一〇、四七〇	二七、〇六四	九一、六四五
絲染フランネル	八二、九五三	七七、九六六	九、〇〇一
捺染フランネル	二〇〇、五四七	七三、八二六	八三、一八七
染ジンス	三五七、五〇五	四七四、一二〇	三五三、九一二
捺染ジンス	三一五、〇六六	一八三、六三八	二六、六二三

Duploジンス	三、四三八、九八〇	二八三、八二〇	
白ジンス	一八、一九五	一〇、三二〇	一〇、五一二
ボンヂス	二〇〇、六〇一	一六一、九七四	一五八、八八九
更紗	八一九、五五六	四五三、九九九	六一九、一六五
晒金巾	四四〇、八七三	四一一、一四四	四八五、九八八
絲染朱子	一五、三九七	一三、九六四	一三、〇一八
朱子	一四六、二二〇	一三二、〇七一	一五三、三三九
四封度天竺	三四、六二三	二二、二四〇	四〇、〇四〇
六封度天竺	一〇〇、八九七	一一七、七五七	八七、一四二
十二封度以上金巾	一九一、二五〇	一七四、八二〇	
金巾	二〇五、四九一	二五七、六六九	
ジンス	五八一、七三二	四六三、五一七	
モスリン	一一九、一一八	一五四、〇八六	四六、七二六

(一) 香港に於ける本邦綿布需要の状況
 香港は自由貿易港なるを以て正確なる統計を得る事難く従つて調査頗る困難なり、大體に於て當港輸入綿布は四五千萬圓にして日本品は約半數の二千萬圓を占む。

この内大部分は廣東、スワタオ、方面へ轉送せらる、目下ジンスの輸入最も多く之れ等は廣東にて染色せらる。其他金巾、粗布、天竺等之れに次ぐ然れども漸次上海製ジンス細布等の製出せらるるあり生地綿布の需要は減少すべし加工綿布としては五枚及八枚朱子捺染其他捺染ジンス、更紗等にて我國輸入綿布の五割を占む。

(二) 本邦綿布競争状況
 (イ) 上海市場に於ける本邦綿布競争状況

上海市場に於ては漸次英國品を驅逐し薄地捺染其他の高級品は英國品多きも其他に至りては殆んど本邦品其の大部分を占むるに至れり。左に歐洲品、米國、日本、三國製造につき其の輸入の消長を記さん。

品名	歐洲品	米國	日本品	合計
無地金巾	二一、八六〇		二九、八二五	五一、六八五
緋木綿	二五、九一九		一八九、五一一	二二五、四三〇
染天竺	一、六三一、五三三		一、四五九、九五四	三、〇九一、四八七
イタリアンベネシアンラスチング	二二〇、一四六		五、一五七	二二五、三〇三
同紋織	一八〇、九八八		一九三、二四四	三七四、二三二
綿ポプリン(無地)	三五、八二七		四二、〇六一	七七、八八八
紋ポプリン	三九一、八一〇		七九六、二七八	一、一八八、〇八八
更紗	一二四、五一八		九、三二七	一三三、八四五
捺染綿朱子	三九、一三五		八一、七八八	一二〇、九二二
捺染綾木綿	一、二〇七、四九三	二、五四六	八九、八二三	一、二九九、八六二
綿モスリン	二、〇五二、六一六	四九	一二四、一四七	二、一七六、八一二
ベルベツチン				
無地				
捺染	一三、八四三	五三、〇〇三	三三五、七五〇	四〇二、五九六
フランネル				

綿毛布	二九九			二〇	二、九六〇	三、二七九
綿縮(黒)	一〇九、三五一				一三四、九七三	二四四、三二四
同(黒以外ノモノ)	六、七八九				六〇〇	七、三八九
晒薄地モスリン				二二八	五、二五五	三六六、六〇七
染金						
晒寒						
染冷紗						
晒綿	四一、八八六					四一、八八六
捺染綿						
綿スバニツシユ	一、一八一				八七五	二、〇五六
ストライプ						
其他綿製品	二、八四一、九一七	一五、九八八	一三、八一七、六三九			一六、六七五、五四二

(備考) 上記表は一九二四年の調査なり。

(四)本邦綿布及外國綿布に對する需要者の批判
朱子は支那人に鑑識眼あるを以て粗製品は喜ばれず目下五枚、八枚は好評なれば規定標準以下のものは絶対不可なり。六ツ綾は絲數を減じ又は品質を落したる爲め殆んど賣れざるに至る、細綾布は「水雷級」より品を落すことは不可なり、目下上海市場には之れより以下五段階低き品あるも何れも粗悪品の誹りを免がれず、又横に入組入りの綿布は支那製品廉價なる爲之れに壓倒せらるゝ有様なり。綿ポブリンは英國品の綿絲優良なると整理加工の秀でたるとにより到底本邦品之れに及ばず、捺染綿布は漸次本邦染色の改善せられしも大體に於て英國品は概して堅牢なり、我れのと及ばざる點多し南部支那方面にありては洗濯をなすこと夏物に於てことに激しき故夏物の捺染物に對しては堅牢になすべく研究を要す。

綿ネルは需要多きも概して本邦品は粗製の傾あり今治製品は稍好評なり、要するに綿綿布は既に支那品にて満足せらるゝに至るべきを以て高級品に進む事の研究を要する次第なり。

(五) 綿布賣込方法につき改善を要する點並に製造上改良を要する點

英國製造業者は一店を撰び自己商標の一手販賣權を附與し、又支那人の收賄性を利用し碼を特別に長くし或は一箱一包毎に長さの添品を附す等巧みに支那人の通有性を利用し、尙且つ延取引をなせば、扱人が扱ひ易し、然るに我が國に於ては現金主義なるを以て扱ひ難き感あり、而して一種一店主義も大に考慮すべき事なりとす、以下瓜哇の章と同じき故略す。

(六) 輸出検査に對する批判

瓜哇、シンガポールの章にて細説せしと同様なれば之れを省略す。

(七) 本邦綿布將來の趨勢

上海及香港地方に於ける本邦綿布は上述の如く漸時需要増加しつゝあるも、粗布類及低級加工品は支那工業の發達につれて漸次蠶食、擊退せらるべく、故に將來益々支那需要の大勢を研究し適合品を作るは勿論高級綿布に進み英國品の領域に突進せざるべからず。

結 論

第一章瓜哇、スマトラ、ボルネオ、第二章シンガポール及馬來半島、第三章上海、香港等の各章にて論じたる處總べて事情を同うし支那、南洋方面の綿布輸出をなさんとせば、今後益々高級品への向上を計ると同時に支那商人の如く本邦人は相互に無益の競争をさけ、検査の勵行は勿論、技術的研究、賣込方法の改善等につき一段の研究をなさば將來益々有望なるべく實に「南洋を知らざれば國家は富まず」の言は金言として味ふべきものなりとす。

142
586

終